

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ハウスかるがも（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年12月24日		～	令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年12月24日		～	令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種連携における個々の特性に応じた支援を行っている（5領域の視点を踏まえた本人の強みを生かせる活動の提供・丁寧なアセスメント）	・こどもが様々な活動や環境に触れながら達成した喜びや満足感を感じる遊びの提供 ・個別に丁寧に関わり応答的なやり取りを行う中で、職員との信頼関係・愛着関係を築きながらより意欲的な活動参加を展開できるようにしている	・遊びの展開と内容の充実 ・更なるアタッチメント支援 ・多職種連携 ・支援者のスキルアップ
2	・家族支援（親子通所・きょうだい児支援・保護者研修・ペアレントトレーニング・個別相談）	・定期的なペアレントトレーニング ・個別相談 ・専門職を介しての保護者支援 ・保護者同士のネットワーク作り	・相談支援のスキルアップ ・専門職介入に關しての事前研修
3	・各関係機関との連携（相談支援事業所・保育園・幼稚園・小学校・保健センター）	・移行に向けた支援（生活動作の獲得・コミュニケーション等） ・移行に際しての丁寧なアセスメントと個別面談	・相談支援事業所、保育園、幼稚園、小学校、保健センターとの信頼関係の構築

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援スキルの課題や改善等を踏まえた事業所全体のスキルアップ（現状に対して常に課題意識を持ちながら多様面（安全・衛生・対人）でのスキルアップや運営の充実化を図りながら取り組んでいく）	・支援者同士がコミュニケーションをより深めながら様々な研修や視察に行くことで、施設職員全体の自己研鑽に繋がるようにしていくことが必要である	・これまでのとおり現状の支援スキルに対して常に再検討をしながら必要な環境や知識を更新していく必要がある
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援ハウスかるがも（児童発達支援）		公表日		令和8年 2月 20日	
				利用児童数		18	
						回収数	
						17	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
							ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17				職員配置について国の指定基準に則り、配置しております。こどもの状況に合わせて手厚く配置するように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1			生活空間への配慮として、活動と部屋の場所を分離するなど配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				毎日の消毒・清掃に加え、安全点検もこまめに行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1			個々のニーズに合わせた丁寧な支援を行っております。子ども達が楽しみながら生活スキルやコミュニケーションスキルを獲得できるように配慮しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1			支援プログラムの内容を踏まえた支援の実施に努めています。公表も含め保護者の方々への細やかな説明に努めていきたいと考えています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				アセスメントを丁寧に行いながら本人や保護者の意向を確認して事業所内での共有・検討を重ねた上で支援計画を作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1			個別支援計画では、「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の内容について保護者説明のもと具体的に支援が行われるようにしています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1			活動内容に関しての具体的な説明や意図を保護者に丁寧に伝えていきます。月齢や発達段階に合わせた活動提供を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	1		・取り組んだ活動を子どもが話してくれ、毎回違う内容なのでいいと思う。 子ども達が意欲的に活動へ取り組むことができるように配慮しています。また、季節に合わせた内容への配慮を行っております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	2	2	地域の子ども達との交流や保育所や認定こども園、幼稚園等の交流を積極的に図ることができるようにしていきます。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16		1		今年度も口頭説明と書面での説明を行い、同意をしていただきました。ご協力ありがとうございました。おたよりでも公表しております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				計画に沿いながら個別に配慮しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1			・ペアトレや親子通園に参加したいのですが、仕事の都合でなかなか参加出来ないの で、難しいと思うが曜日の枠が増えたらと思う。 定期的なペアレントトレーニングでは今年度たくさんのご参加をいただきました。また、ご夫婦での参加も多く見られました。日程についても配慮していきたいです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	16	1			定期的な個別面談や相談を受けられるようにしています。お子さまの健康や発達状況を丁寧に伝ええるように今後も努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				定期的な面談を通して細やかな支援・助言が行えるように配慮しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	1		1	きょうだい児についての細やかな説明を行いながら、きょうだい児に向けてのケアも充実していけるようにしていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16				常に相談に対応出来るように心掛けています。また、施設側からできるだけ細やかなケアが行えるようにお声掛けて面談を実施できるように配慮しております。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		1	定期的にお便りやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報発信を行っています。今後も周知しながら継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				個人情報の取扱いについては、保護者の同意のもと(書面にて個人情報と肖像権についての同意とサインを頂いております)厳重に行っております。活動の様子を知りたい方と控えた方の意向のバランスを検討しながら今後のホームページ写真の在り方を検討していきたいと考えております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		4	1階玄関の掲示板や保護者閲覧用がご用意されています。今後も全体周知に努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		3	定期的な避難訓練(子ども達と合同)を行い、有事に備えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14				非常災害対策について保護者閲覧用資料を1階玄関に設置しております。今年度は口頭にて全体説明を行いご理解を頂きましてありがとうございます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15				事故・怪我において迅速な対応が行えるように体制を整えております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				安心感を持ちながら通所して下さる回答に嬉しく感じております。今後も子ども達や保護者の皆さまが安心出来る環境や取り組みを行って参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			・かるがもが大好きです。 今後も子ども達が喜び笑顔で通所出来るように職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・先生方にはいつもお世話になり、感謝しかありません。 多くのご回答ありがとうございました。今回の保護者の皆様からいただきましたご意見をもとに今後も適正な運営に努めて参ります。また、保護者の皆さまのご理解とご協力を沢山頂きましたこと心より感謝申し上げます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ハウスかるがも（児童発達支援）					公表日	令和8年2月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子ども達が伸び伸びと活動に取り組むことができるように場面に合わせた環境配慮を行っています。	母子通園などの参加人数が多くなる場面で室内が狭く感じてしまうことがある。活動時の動きや流れを踏まえて工夫する。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員の配置は国の基準に則り適正な運営を行っています。また、個人に合わせて手厚く配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		障害の特性に合わせた配慮や、手すりの設置など環境上の配慮に努めています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の消毒や清掃に加えて、安全点検を行い子ども達が心地よく過ごせる環境を整えています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋を情緒面や体調に合わせて使い分けが行えるようにしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		目標設定と振り返りを職員揃って丁寧にしています。また、互いに気付いた点や今後の対応方法についても意見交換しながら計画的に進めています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		令和8年2月14日に地域連携推進協議会を行い第三者評価を取り入れた施設機能向上を図る会議を行いました。	職員間で第三者からの評価や意見を共有している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		今年度は外部研修に計8回参加し、内容についても全職員で共有し支援の資質向上に努めています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			常に職員間や保護者とも連携をしながら意識して運営を行う。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画会議を行い、職員間で情報共有したうえで丁寧に計画を作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			具体的な支援内容について内容を職員と相互に理解し合い丁寧に子どもと関わっていく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節ごとの行事を取り入れたりして、子ども達が主体となり楽しめるように活動を計画しています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に必ず打合せを行い活動の目的や流れを共有しています。また、チームで連携して支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後には必ず振り返りの会議を行い次回の活動への配慮を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		子ども一人ひとり、個別の記録を毎日行いながら、時系列で支援内容を検証・改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		各関係機関との連携を丁寧に行い、インクルージョン推進の観点から支援を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			定期的な地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて相談・援助を頂きながら運営しています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度のペアレントトレーニングは、全9回行いました。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		各家庭、保護者面談を定期的に行います。要望がある場合は迅速に対応を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ペアレントトレーニングを実施しながら、保護者の交流の場を設けるようにしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応ができるように配慮しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりにて、子どもたちの活動や行事予定を毎月お伝えしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いについては職員が研修を通して十分に配慮し、意識的に日々行動をとるようにしております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルに則り、職員や保護者に連携・周知を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		施設内の安全点検を定期的に行い、事故・怪我の予防に努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録を取りながら次の事故・怪我防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員が障害者虐待防止研修に参加できるようにしています。また、施設内研修を定期的に行い、メンタルヘルスの管理にも努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ハウスかるがも(保育所等訪問支援)			
○保護者評価実施期間	令和7年12月24日		～	令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年12月24日		～	令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月24日		～	令和8年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4	(回答数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種連携における個々の特性に応じた支援を行っている (5領域の視点を踏まえた本人の強みを生かせる活動の配慮・丁寧なアセスメント)	・本人が安心出来る環境の配慮 ・実状の把握 ・直接的支援を入れることにより現場のスタッフの方々との実践的な共通理解を深めている	・5領域の視点を踏まえたアセスメント ・多職種連携 ・支援者のスキルアップ
2	・家族のニーズに合わせた相談援助(集団への参加状況の把握・不安軽減・支援の方向性についての共通理解)	・現在の集団活動の実態を把握 ・保護者、支援者間の支援の方向性の確認 ・保護者の不安軽減について細やかな相談ケア	・5領域の視点を踏まえたアセスメント ・保護者との信頼関係を築く ・相談支援についての支援者のスキルアップ
3	・訪問先のニーズに応じた相談援助 ・連携(訪問先のスタッフへの助言やアドバイス・不安軽減・状況把握)	・訪問先のスタッフとの信頼関係作り ・集団生活の実態についての共通理解 ・支援の方向性や、方法などの共有	・相談援助 ・相談支援についての支援者のスキルアップ ・関係機関との信頼関係作り

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・より計画的にニーズに応じた訪問支援計画を策定し、実施していく	・計画的なスケジュールの調整 ・訪問先との連携 ・訪問時の活動内容に合わせた事前配慮	・事前に訪問先との連携を密に行い、活動内容の把握や事前配慮について当事業所にてしっかりと準備・対応していく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援ハウスかるがも（保育所等訪問支援）					公表日	令和8年2月20日	利用児童数	17	回収数	17
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9	1		7	・教具教材について説明を受けたことがない。		訪問支援に使用する教材についてしっかりと事前に説明を行い、保護者の方々への理解を深めていきたい。			
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	15	2			・完全個室ではないので周りに聞こえていることもあると思っているが、不満ではない。		個人情報の保護の観点から完全個室での対応をしています。			
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	17									
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13	2	2				相談の上で、訪問日をしっかりと決定していく。また、訪問先の事情により日程変更になる場合もあるので双方に連携を図る。			
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	17									
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1					子どもの特性に合わせた専門性のある支援を提供出来るように組織的に学べる体制を作る。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17									
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	15	1		1			個別支援計画の中には、本人・保護者・担任・関係者の意向や協議内容を含んでいる。保護者にも伝えていきたい。			
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	2					保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容を設定する。			
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17									
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	17									
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1					運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行う。			
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17									
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	17				・親子通園やベアトレに参加し、来年は年長になるので、先生に相談したり、保育所訪問の話も直接聞けたらと思っている。					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	16	1					必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解を行えるようにする。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16									
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1					事業所の職員から共感的に支援をされるように施設内で会議を重ねていく。			
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17									
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17									
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	16			1						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	13	1				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2		2		活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信しているが、周知に至らないこともあるので個別に伝えていきたい。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	12	1		1		緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしている。保護者にも丁寧に伝えていきたい。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	14					
	28	事業所の支援に満足していますか。	14					保育所等訪問支援を行いながら、本人・保護者・支援者・各関係機関が連携を図り今後も細やかで丁寧な支援に繋がっていくように努力していきたい。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年2月20日

児童発達支援ハウスかるがも（保育所等訪問支援）

利用先

： 6

回収数

： 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	1		・療育での1日の様子をお迎え時にでも知りたい。 ・子どものことを理解して説明や助言をしてくれる。 ・子どもの情報共有が出来た。 ・療育でどのようなことをしているのか知れた。 ・関わりなど参考になっている。	日頃より、かるがもの取り組みにご理解とご協力をいただきありがとうございます。今後も丁寧に分かりやすい説明や助言を目指してまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	1		・子どもの今の状況を見て活動に参加できるようサポートして下さり助かっている。 ・声掛けなど勉強になった。	支援に対する知識や技術等に満足していただけるように今後も施設内で自己研鑽を行ってまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	2		・療育先での気になる姿に対する援助や声掛けを知りたい。 ・訪問後、支援員とその時間に連携が取りたい。	一緒に考える場面では、私たちの学びになり、様々な支援のヒントとなることがあります。今後も連携をとりながら丁寧な支援を目指します。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	3		・困り事に対して活動内容や伸ばしたい部分を共有しながらその子の発達に関わりたい。 ・本児がどのような理由で通所しているのか知る事が出来た。 ・寄り添い親身になってお話し聞いて下さり、嬉しかった。	子ども達を長期的に支援をしながら行動面や情緒面が変化していくことを一緒に共感していけることに感謝しております。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	1		・安心して通えている雰囲気伝わって安心した。	いつもありがとうございます。今後も丁寧な対応を心掛けてまいります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子や伸ばしていきたい所、課題点など知りたいです。お迎え時にでも細かく伝え合う時間があつたら良いと思います。 ・子どものサポートをしてくださりありがとうございます。保育の中で私たちが気付けない子どもの困り感や支援方法など教えて下さり、子どもたちが楽しめる保育を進める事が出来ています。これからもよろしくお願いします。 ・連携を行い、園児の様子を具体的に伝え、就学へ向けて繋げていきたかったです。今後は情報共有をし、連携を取りたいと考えております。 ・情報共有の場が少なく、どのような目的で通園してるのか分からず、母親からの情報だったため、訪問の際、園で感じていた本児の困り感の支援を中心していると知り、安心しました。 					子ども達を取りまく環境を含め、共に支援をする方々が手を取り合い、連携を重ねて支援を行えることに感謝しております。今後も、連携を図り丁寧な対応を行ってまいります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ハウスかるがも（保育所等訪問支援）		公表日		
				令和8年2月20日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		個々のお子さまの実態に合わせて当施設で実際に 使用している材料をご準備します。また、事前に 訪問施設との話し合いを行い必要に合わせて環境 を整えています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国の基準を遵守しています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		訪問終了後に反省を行い、全体で情報共有を行っ ています。また、PDCA サイクルを意識して会議 を行います。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	○		今年度は地域連携推進協議会を行い、外部評価を 丁寧に実施しました。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を定期的に行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		定期的に保護者と面談を行い、お子さまの状況や 保護者の意向を確認して情報共有を行い、個別支 援計画書を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○			インフォーマルなアセスメントが多いためフォー マルなアセスメントも取り入れていきたいと考え ています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	○		直接支援や介入ポイントを事前におさえてから訪 問に何うように配慮しております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問終了後に必ず振り返りと保護者様への報告を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的な援助や説明方法を工夫している。特に障害の有無に関わらず、外国籍の利用者に対しても翻訳して丁寧に伝えるように配慮しています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			今後も身体拘束や虐待についての研修を行い、人権について理解を深めていながら必要な支援に対して連携を取りながら適切に行っていきたいです。